



ブリビアクトを 服用される方へ

監修：新宿神経クリニック 院長 渡辺雅子先生



てんかんとは？

**てんかんはごくありふれた病気で、
約100人に1人の割合で発症するといわれています。**

- ◎ てんかんは、発作を繰り返す脳の病気です。
- ◎ 突然、脳神経細胞が過剰な興奮状態になることで発作がおきます。発作の症状は人によってさまざまです。
- ◎ てんかんは、年齢、性別、人種に関係なく発症します。
- ◎ ごくありふれた病気で、約100人に1人の割合で発症します。日本では約100万人がてんかんのある人といわれています。
- ◎ てんかんがおこる原因はさまざまで、脳になんらかの障害がみられる場合もあれば、明らかな異常がみつからない場合もあります。また、発作をおこしやすい素因を持つ人もいます。



- ◎ てんかんは適切な治療によって、約70%の人がお薬で発作を抑えることができます。発作を完全に抑えられない場合でも、回数を減らしたり、症状を軽くすることができます。
- ◎ てんかん発作を上手にコントロールできれば、通常の社会生活を送ることが可能です。
- ◎ 主治医の先生と一緒に、てんかん発作を上手にコントロールしていきましょう。

てんかんの治療目標

- 発作を抑える
- 副作用をできる限り少なくする
- 個々の患者さんが望む生活を送れるようにする



お薬によるてんかんの治療

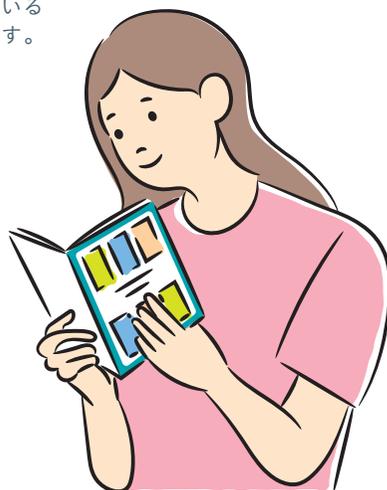
てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。

- ◎ てんかんの治療では、主に「抗てんかん発作薬」と呼ばれるてんかん発作を抑えるお薬を用います。抗てんかん発作薬には、脳神経細胞の過剰な興奮を抑えるはたらきがあります。
- ◎ 抗てんかん発作薬にはいくつか種類があり、次のような点に基づいて、それぞれの方に合ったお薬を主治医が選択します。

主治医が抗てんかん発作薬を選択するときの 主なポイント

- てんかん発作のタイプ
- 年齢、性別
- お薬に対する反応や副作用の有無
- ほかに服用しているお薬 など

※てんかん以外の病気があり、ほかにお薬を服用している場合、お薬同士が影響し合わないように考えて選ばれます。



- ◎ 抗てんかん発作薬の種類によっておきやすい副作用が異なります。
- ◎ お薬の副作用をできる限り減らし、てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。
- ◎ てんかんのお薬による治療では、通常まず1種類の抗てんかん発作薬で治療を開始します。もし、1種類の抗てんかん発作薬でてんかん発作を十分にコントロールできなかった場合は、複数の抗てんかん発作薬を組み合わせる治療を行うこともあります。



ブリビアクトについて

**主治医の指示に従って、
決められた量を服用しましょう。**

- ◎ てんかん発作に影響すると考えられている脳内の特定の作用点に結合することで、てんかん発作を抑えるお薬です。
- ◎ てんかんの部分発作(二次性全般化発作を含む)のある方に処方されます。
- ◎ てんかん発作の最初の治療薬として、また既に服用されているお薬に組み合わせとして処方されるお薬です。

ブリビアクトの写真

ブリビアクトには25mgと50mgの2種類があります。
主治医の指示に従って、決められた量を間違えないように服用しましょう。

ブリビアクト25mg



表



裏



側面

ブリビアクト50mg



ブリビアクトの服用方法

ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。

- ◎ お薬の量や服用タイミングは服用される方の状態によって主治医が決定しますので、指示に従って服用してください。
- ◎ 主治医は必要に応じてお薬の量を変更することがあります。主治医と相談せずに、ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。
- ◎ 現在服用している抗てんかん発作薬がある場合や、てんかん以外の病気があり、ほかにお薬を服用している場合、お薬同士が影響し合わないよう調整の必要があることがあります。特に以下のお薬などを服用されている場合には、必ず主治医にご相談ください。

- リファンピシン(リファジン®など)
- カルバマゼピン(テグレトール®など)
- フェニトイン(アレビアチン®など)
- アルコール(飲酒)



スケジュール表に記入してみましょ

スケジュール表の記入例

25mgを1日2回服用(1日あたり50mg)

注意:ブリビアクトは食事の有無にかかわらず服用することができます。毎日同じ時刻に飲むことを習慣にしてください。下記の例では「朝食後」「夕食後」に服用する場合を示しています。

1回目(朝食後)	2回目(夕食後)
ブリビアクト25mg 1錠	ブリビアクト25mg 1錠
ブリビアクト50mg 0錠	ブリビアクト50mg 0錠

あなたの服用スケジュールを書き入れてみましょう。

1回目()	2回目()
ブリビアクト25mg 錠	ブリビアクト25mg 錠
ブリビアクト50mg 錠	ブリビアクト50mg 錠

1回目()	2回目()
ブリビアクト25mg 錠	ブリビアクト25mg 錠
ブリビアクト50mg 錠	ブリビアクト50mg 錠

服用にあたってご注意いただきたいこと

服用する前に

- ◎ 次のような方はブリビアクトを服用することはできません。
 - 以前にブリビアクトに含まれる成分やピロリドン誘導体(ピラセタム(ミオカーム)またはレベチラセタム(イーケプラなど))を服用して過敏な反応を経験したことがある。
- ◎ ブリビアクトを服用する前に、以下について当てはまることがありましたら、主治医に伝えてください。
 - 肝臓に問題がある。
 - 妊娠している、または妊娠する予定がある。
 - 母乳育児中、または母乳育児を計画している。

服用中に

- ◎ 症状がおさまったとしても、ご自身の判断でお薬の服用をやめないでください。症状が再発してしまうおそれがあります。
- ◎ ブリビアクト服用中に眠気やめまいなどがあらわれることがあります。そのため、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ◎ 時に、攻撃的になる、感情が激しくたかぶる、落ち着きがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、根拠がないのにあり得ないことを考えてしまう、気分がゆううつになる、ちょっとした刺激で気持ちや体の調子が崩れる、などの精神症状があらわれることがあります。また、自殺をするために実際に行動をおこす可能性もまれにあります。これらについては主治医から十分に理解できるまで説明を受けてください。
 - **患者さんへ**
攻撃的になる、自殺をするために実際に行動をおこすなどの症状があらわれた場合には、放置しないで主治医に相談してください。もし、気分に変化があったと感じた場合には、ご家族などの方にも伝えるようにしてください。
 - **ご家族などの方へ**
患者さんの状態の変化について観察して、変化がみられた場合には主治医に連絡してください。
- ◎ 妊娠している、または可能性がある方は主治医に相談してください。
- ◎ 授乳は主治医に相談してください。

お薬を服用し忘れないようにするヒント

- ◎ てんかん発作を上手にコントロールするためには、お薬を飲み続けることが大切です。特にさまざまなお薬を服用していると、いつ服用するのか、どれくらいの量を服用するのかを把握するのがむずかしくなることもあります。薬を飲み続けるのを少し楽にするためのヒントをいくつか紹介します。

● ピルボックス・お薬カレンダーを利用する

ピルボックスやお薬カレンダーに1週間分のお薬を入れておくと、飲み忘れや、二重に飲んでしまうのを防ぐことができます。

● 日課にする

毎日同じ時間にお薬を飲む習慣をつけましょう。

● 見える化する

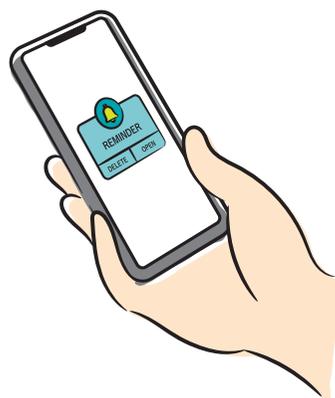
目に入る場所にお薬を置いておく。
冷蔵庫など家の中の目立つ場所に空になった薬袋を貼る。
カレンダーや手帳にしるしを付けて服用状況を記録する。

● テクノロジーを利用する

時計、携帯電話(スマートフォン)、またはPCのアラームやリマインダーを設定する。

● 人の協力を得る

家族や友人など身近な方にお薬を飲むよう思い出させてもらう。



このような症状がみられたら、 主治医や薬剤師に相談しましょう。

- ◎ すべてのお薬には利点だけでなくリスクもあります。治療にあたってどのようなリスクが予想されるかをご理解いただき、もし気になる症状がみられたら、医師や薬剤師に相談することが重要です。
- ◎ ブリビアクト服用中に、眠気、めまい、疲労感、イライラ、不安、吐き気といった副作用がみられることがあります。
- ◎ 特に眠気やめまいは服用し始めなどにみられやすい副作用ですが、服用を続けることで次第に慣れていくことがあります。

ブリビアクト服用中におこりやすい副作用

● 眠気



● めまい



● イライラ・不安



● 吐き気



特に気をつけていただきたい副作用

- ◎ 他の抗てんかん発作薬と同様に、ブリビアクトは非常に少数の方（服用された約500人に1人）に自殺をするために実際に行動をおこすおそれがあります。
- ◎ このような症状がみられた場合には、すぐに主治医や薬剤師に相談してください。
- ◎ ご自身の判断で服用をやめないでください。



気になる副作用がみられたら、ご自身の判断で服用をやめずに、
まずは主治医や薬剤師に相談してください。

ブリビアクト服用に関するQ&A

Q. お薬を服用し忘れてしまったのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A. 服用し忘れたことに気づいたときに、1回分をできるだけ早く服用してください。もし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、次回に1回分のお薬を服用してください。

Q. 主治医から指示された量よりたくさんお薬を服用してしまったのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A. ブリビアクトをたくさん服用してしまった場合、お薬の作用が強くなりすぎてしまい、眠気、めまいなどの症状が出る場合があります。このような症状があらわれたら、すぐに医療機関を受診してください。また、特に変わったことがなくても、心配な場合はいつでも主治医や薬剤師に相談してください。

Q. 処方されたお薬を紛失して、服用を一時的に中断してしまいました。

A. 処方されたブリビアクトを紛失し、服用を中断しなければならなくなってしまった場合、すぐに主治医に連絡し、お薬をもらってください。

Q. 薬局などで売っているお薬やほかの病気のお薬と一緒にブリビアクトを含む抗てんかん発作薬を服用しても大丈夫でしょうか？

A. 薬局などで売っているお薬や、ほかの病気のお薬と一緒に、ブリビアクトを含む抗てんかん発作薬を服用する場合は、あらかじめ主治医に相談してください。また、何か別の病気でほかの病院にかかる場合は、ブリビアクトを服用していることを担当の医師に伝えるか、お薬手帳または現在服用しているお薬を持って行って医師や薬剤師に見せてください。

Q. 妊娠している場合、ブリビアクトを服用しても大丈夫でしょうか？

A. 妊娠中の人や、妊娠する可能性のある人は、必ず主治医に相談してください。ブリビアクトの妊娠・出産に関する安全性は確立していません。主治医がてんかん発作の状態や健康状態などを総合的に判断して、お薬を服用してもよいかを判断します。

あなたにとっての治療目標は何ですか？

- ◎ てんかん患者さんがよりよく生きていくのに役立つ方法の一つとして、「自分が最も興味を持って取り組んでいけることを明らかにする」ということがあります。
- ◎ 多くのてんかん患者さんに共通する関心事を以下に示しました。
- ◎ あなたにも当てはまる目標がありますか？
- ◎ 自分自身で治療目標を明らかにすることは、主治医を含む医療チームとの連携向上に役立ちます。



感じたい気持ち

- 自立している
- 安全だ
- コントロールできている
- 普通だ
- 心配や落ち込みがない
- 治療に前向き



楽しみたいこと

- 活動の制限が少なくなる
- 将来
- 旅行
- 社会活動
- 日々の困難を乗り越える
- 家族や友人とのよりよい関係
- 子どもでいること



治療に望んでいること

- 人生の他のことに集中できる
- 早く仕事を始められる
- 自分の生活にフィットする
- 発作の回数を減らしたい
- 服用スケジュールが簡単
- 短期的な副作用が少ない
- 長期的な副作用が少ない
- 発作の大きさを最小限に抑える



できるようになりたいこと

- 車の運転
- 仕事/通学
- 運動/スポーツをする
- 課外活動に参加する
- 自分や家族の世話をする
- 一人暮らしをする
- デートや恋愛をする
- 家族計画について話し合う
- 主治医と良好な関係を築く
- てんかん発作について理解する

上記で選んだ目標を見直しましょう。
どれから取り組みますか？目標を選び、空欄に記入してみましょう。

あなたの目標について主治医と話し合ってみましょう

私の目標は：

目標を設定することは最初の一步であり、なぜその目標に集中したいのか、その理由についても主治医と話し合う必要があります。あなたが何を達成したいのかを共有することで、主治医はあなたに最適な計画を立てる方法をよりよく理解することができます。できるだけ多くの情報を伝え、あなたがどうしたいのかを明確にできるのは、あなた自身です。

説明してみましょう

- この目標が重要な理由
- この目標を達成するためにはどうすればいいか
- この目標が達成されたら、人生はどう変わるだろうか
- この目標を達成するための現在の課題は何か

たずねてみましょう

- これは妥当な目標だろうか
- この目標を達成するために、薬はどのように役立つか
- この目標を達成するために、処方された薬を服用する以外にできることはあるか
- 目標達成の妨げになっているものはないか
- ストレス、睡眠不足、アルコールなどの誘因を管理することは、目標達成にどう役立つのか

共有してみましょう

- 前回の来院からの体調はどうですか
- 発作の頻度はどうですか
- 発作日誌やその他の記録はありますか
- 薬やてんかんの管理で困っていることはありますか

この欄には、追加の質問や主治医と話したいことなどがあれば記入してください。

医療機関名：

連絡先：

主治医名：

薬剤師名：

